

# 東北地方 1 か月予報

( 1 1 月 2 3 日から 1 2 月 2 2 日までの天候見通し )

平成 1 4 年 1 1 月 2 2 日  
仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

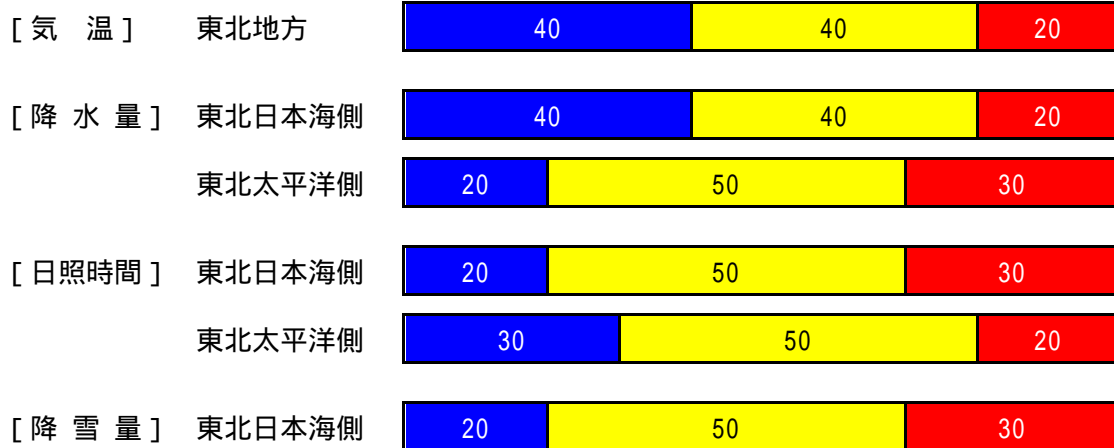
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

前半は天気はおおむね周期的に変化しますが、後半は冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

向こう 1 か月の気温は平年並か低く、降水量は東北日本海側は平年並か少ない、東北太平洋側は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並の見込みです。

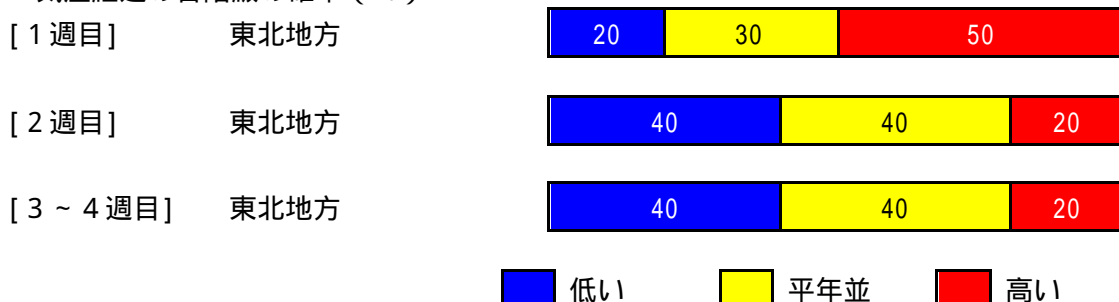
週別の気温は、1 週目は高い、2 週目、3 ~ 4 週目はともに平年並か低いでしょう。

## < 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間，降雪量の各階級の確率 ( % ) >



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

## < 気温経過の各階級の確率 ( % ) >



低い 平年並 高い

## < 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 1 月 2 3 日 ( 土 ) ~ 1 2 月 2 2 日 ( 日 )  
1 週目 : 1 1 月 2 3 日 ( 土 ) ~ 1 1 月 2 9 日 ( 金 )  
2 週目 : 1 1 月 3 0 日 ( 土 ) ~ 1 2 月 6 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目 : 1 2 月 7 日 ( 土 ) ~ 1 2 月 2 0 日 ( 金 )

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 2 9 日  
3 か月予報 : 1 2 月 2 4 日 ( 火 ) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温，降水量，日照時間，降雪量と 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温 ( )		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	4.5	52.6	133.2	0	6.3	5.2	3.6
新庄	2.5	207.1	38.5	-----	4.4	3.2	1.5
若松	3.0	81.4	72.1	47	4.8	3.6	2.1
深浦	3.6	137.6	38.3	32	5.4	4.2	2.6
青森	2.5	143.5	58.3	135	4.4	3.2	1.4
むつ	2.4	100.0	75.8	-----	4.3	3.0	1.3
八戸	2.8	43.2	125.0	3	4.6	3.5	1.8
秋田	3.9	172.1	50.5	36	5.7	4.5	2.9
盛岡	1.9	72.4	100.8	28	3.7	2.6	0.9
宮古	4.1	51.8	145.0	0	5.9	4.8	3.2
酒田	5.4	216.6	46.8	22	7.1	6.0	4.5
山形	3.5	79.1	82.9	43	5.2	4.1	2.5
仙台	5.4	30.8	138.2	3	7.2	6.1	4.5
石巻	4.5	30.8	147.5	0	6.3	5.2	3.5
福島	5.2	36.6	125.4	11	6.9	5.8	4.4
白河	3.8	35.8	151.6	-----	5.5	4.4	2.9
小名浜	7.1	48.7	174.5	0	8.8	7.7	6.2

なお、気温，降水量，日照時間，降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温，降水量，日照時間，降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ( )	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)	降雪量平年比 (%)
東北地方	-0.4 ～ +0.5	81 ～ 99	98 ～ 104	57 ～ 109
東北日本海側	-0.4 ～ +0.5	92 ～ 107	92 ～ 108	67 ～ 113
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.5	67 ～ 102	97 ～ 105	45 ～ 107

（３）この予報期間の 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.6	-0.7 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.7
東北日本海側	-0.7 ～ +0.6	-0.8 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.7	-0.4 ～ +0.8

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60％の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 11 月 22 日 仙台管区気象台

## 1．可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(11 月 23 日～12 月 22 日)：

前半は天気はおおむね周期的に変化しますが、後半は冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1 週目(11 月 23 日～11 月 29 日)：

期間の中頃、気圧の谷の影響で雨が降りますが、その他の日は高気圧に覆われおおむね晴れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2 週目(11 月 30 日～12 月 6 日)：

天気はおおむね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時強い冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目(12 月 7 日～12 月 20 日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

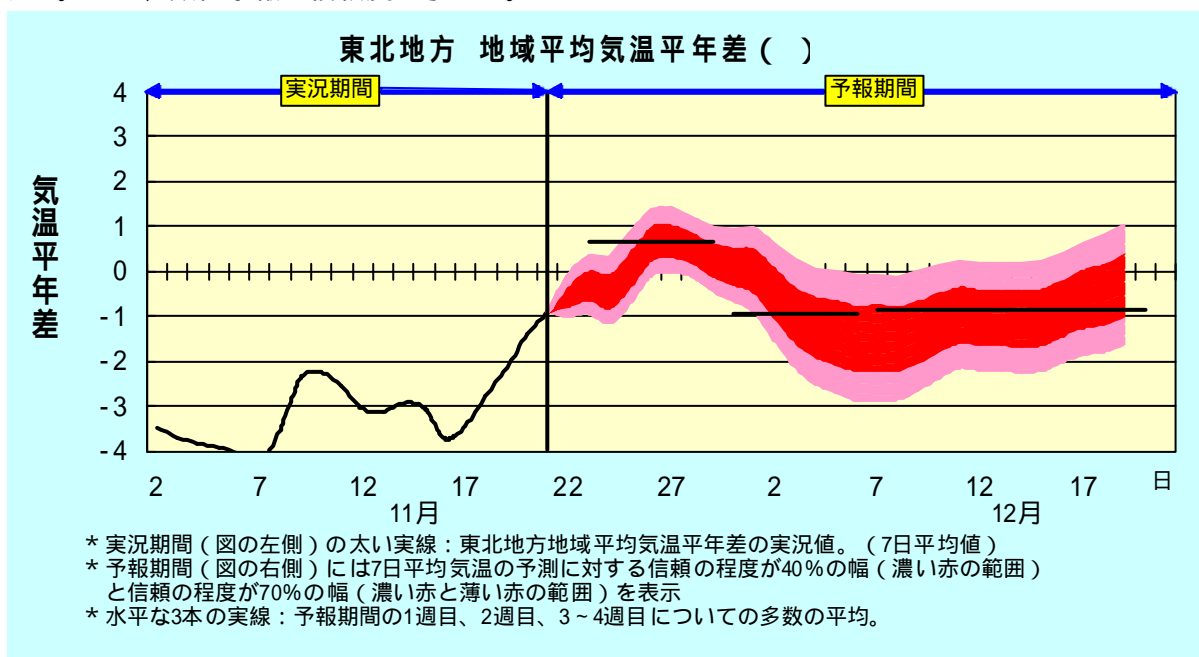
平均気温は平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

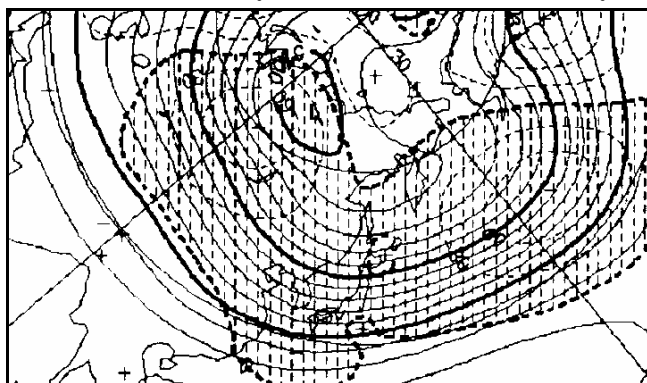
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	5.1 日	1.6 日	1.3 日	2.2 日
東北太平洋側	16.6 日	4.0 日	4.3 日	8.3 日

## 2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「平年並」、2 週目と 3～4 週目は「低い」を予測している。予報は、その他の資料から 1 週目を「高い」、2 週目と 3～4 週目を「平年並か低い」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

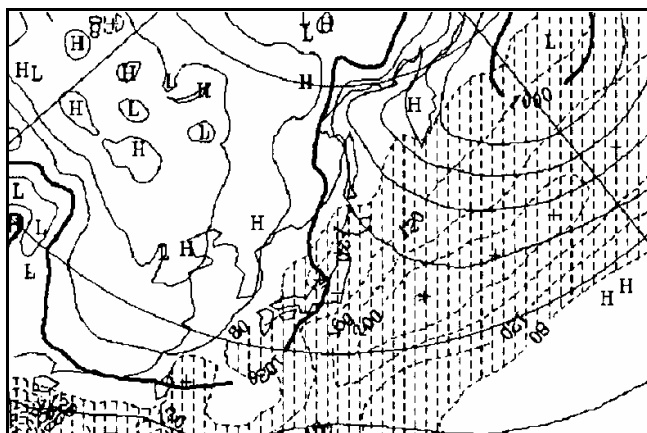


月平均の 500hPa 高度・偏差  
等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は日付変更線付近とバイカル湖の西に中心を持つ負偏差に覆われる。

週別（図略）では、1 週目は北日本や東日本は正偏差。2 週目はオホーツク海に気圧の谷が進み、北海道や日本海は負偏差に覆われる。3～4 週目は日付変更線付近から中国大陆にかけての負偏差域が、日本付近を広く覆う。



月平均の地上気圧と降水量  
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

#### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、北日本は冬型の気圧配置となる。大陸の高気圧の勢力は平年より弱い、アリューシャン付近の低気圧は平年より強い。北日本の日本海側には降水域が予想される。

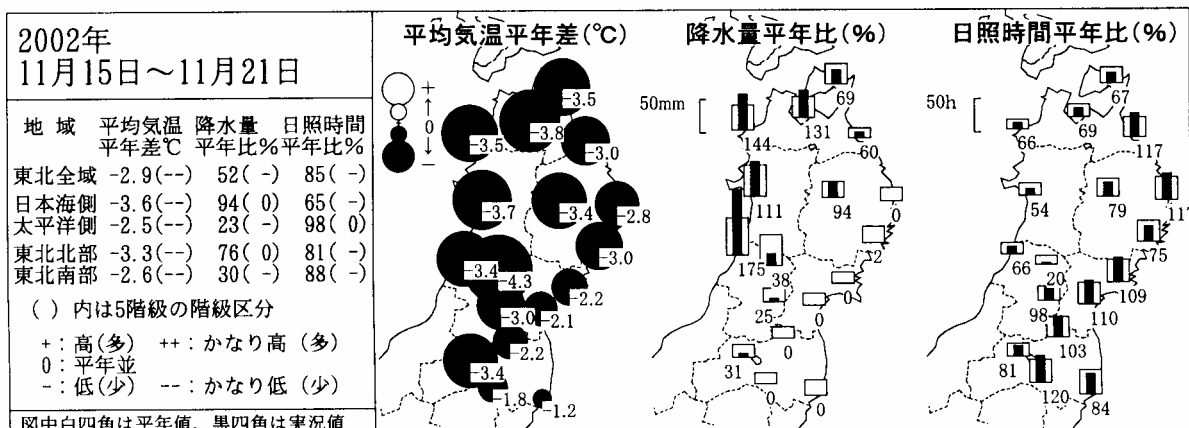
週別（図略）では、1 週目は日本付近の気圧傾度小さく、天気は周期変化基調。日本の南東海上に台風に対応する降水域が予想されるが、東北地方にかかる部分は弱い。2 週目は、北日本は弱い冬型の気圧配置となる。3～4 週目は北日本の冬型の気圧配置が 2 週目より強まり、日本海側にまとまった降水域が予想される。

### 4. 最近 1 週間（11 月 15 日～11 月 21 日）の天候の経過

この期間、15～16日は冬型の気圧配置となって、東北日本海側は曇りや雨または雪となり、東北太平洋側は曇りとなった。その後、気圧の谷が短い周期で通過し、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多かったが、東北太平洋側では天気は概ね周期的に変化した。

16～17日には各地で初霜、初氷を観測した。（5. 2002年季節現象の初日や初冠雪を参照）

平均気温は、東北地方で平年差-2.9 とかなり低かった。降水量は、東北日本海側で平年比94%と平年並、東北太平洋側で平年比23%と少なかった。日照時間は、東北日本海側で平年比65%と少なく、東北太平洋側で平年比98%と平年並だった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5 . 2002 年季節現象の初日や初冠雪

2002年（平成14年） 季節現象（初日）									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10.24	10.23	11. 8	11. 9	10.29	11. 8	11. 2	11. 7	11.13
深浦		11.17	11.10	11. 9	11.19	11.26	11. 2	11.10	11.13
八戸	11. 4	10.27	11. 8	11. 4	11. 2	11. 8	11. 9	11.11	11.14
秋田	11.16	11. 6	11.11	11.10	11.13	11.11	11. 2	11.12	11.14
盛岡	11. 4	10.18	10.19	11. 4	10.24	10.19	10.28	11. 8	11.13
宮古	11. 5	10.31	11. 5	11. 6	11. 5	11. 5	11. 9	11.16	12. 3
大船渡	10.31	11. 5	11. 5	11. 6	11.11	11. 8	11. 9	11.18	11.27
酒田	11.16	11.12	11. 8	11.16	11.20	12. 2	11. 2	11.17	11.13
山形	11. 7	10.24	11. 5	11. 7	10.29	11. 5	11. 5	11.16	11.27
仙台	11. 7	11. 6	11. 8	11. 7	11.16	11.16	11. 9	11.22	11.27
福島	11. 7	11. 6	11. 5	11. 7	11.11	11. 8	11. 9	11.24	12. 6
若松	11.17	10.28	11. 5	11.17	11. 6	11. 5	10.28	11.17	11.16
小名浜	11. 5	11.11	11.15	11. 7	11.19	11.28	11. 9	12.13	12.11

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
八甲田山	1584	10.22	10.16	10.18	朝日岳	1870	10.29	10.19	11. 4
岩木山	1625	10.24	10.15	11. 5	雁戸山 <small>ガントサン</small>	1485	10.29	10.28	11. 4
ハシカミダケ 階上岳	740	11. 9	11.12	11.27	瀧山 <small>リュウザン</small>	1362	10.28	10.30	11. 4
太平山	1170	10.28	10.31	11. 7	泉ヶ岳	1175	10.29	11. 6	11. 7
岩手山	2038	10.22	10.13	11. 4	蔵王山	1841	10.29	10.23	11. 4
五葉山	1351	10.29	11. 7	11. 7	吾妻山	1975	10.28	10.21	11. 4
鳥海山	2236	10.11	10. 9	9.22	飯豊山 <small>イイデサン</small>	2105	10.26	10.17	11. 4
月山	1984	10.25	10.15	11. 5	磐梯山	1819	10.28	10.24	11. 4